

一般質問

・市立御前崎総合病院に関して



阿南 澄男

問

市長は市立御前崎総合病院の管理者になっていますが、その責務についてお伺いします。

予算決算審査特別委員会に提出された資料によれば、第3条予算に第4条予算を加えた実質収支は、年間でマイナス15億円であり、病床数で大きく上回る菊川市立総合病院がマイナス11億円と聞いておりますので、赤字額は規模に対してと1.4倍です。このような市立御前崎総合病院の経営に、管理者である市長はどのくらい関与しているのでしょうか

答

管理者である私といたしましては、定期的に浜松医科大学の学長と附属病院の病院長を訪問し、病院運営における連携強化や、重要課題の一つである医師の確保について依頼をしております。病院長も参加する経営戦略会議では、経費削減の取組などの具体策も検討しております。また、昨年度からは、市の財政部局及び地域医療部局の担当者との定期的な経営会議を実施しております。今後

も積極的に経営改善に向けた指導に当たってまいりたいと考えます。

問

経営というものは、絶えず責任者として病院に訪問して、病院長や事務部長を管理、指揮監督するのが私は管理者だと思っております。菊川市立総合病院は、管理会議を毎月第2、第4、第5週の木曜日に開催し、最終日の木曜日に月1回ですが、経営状況について副市長に報告をしています。

なぜこのように病院側が毎週経営会議をやって、市長や副市長が最終的に毎月経営チェックをするというところが今現在までできなくて、今日に至っているのかお伺いします

答

これまで医師不足の解消に、かみ主眼を置いてきましたが、御指摘のように、現在、担当部局で毎月1回経営会議をやっていまして、その報告を受けまして、今後も経営改善に取り組んでいきたいと思っております。

一般質問

・原子力防災の冬季避難について  
・企業立地奨励補助金について



阿形 昭

問

原子力災害が起きたとき、市民の避難先2は長野県です。雪が降る12月から3月までの自家用車での長野県への避難は現実的ではありません。雪が降る冬の場の避難について、国や県との協議について伺う

答

原子力災害広域避難計画における冬季自家用車避難につきましましては、冬用タイヤの準備や降雪時の交通事故などが懸念され、課題とされておりました。そのような中、本年7月に静岡県が、避難する途中に駐車場を確保し、自家用車からバスに乗り換え、避難する方法を示されましたので、今後は、有効な手段の一つとして実現できるように取り組んでいきます。

問

企業立地奨励補助金は、進出企業の固定資産税、年1億円を限度に最大4億円を交付する制度です。建設中の御前崎港バイオマス発電所は、補助金の対象外だと思います。理由は、バイ

答

企業立地奨励補助金は、地域産業の振興や就業の場の確保を図るため、市内に事業所を設置する企業を対象に、平成22年4月に施行しています。平成29年12月13日付けで総合開発計画策定特別委員会から「御前崎港バイオマス発電事業は、市内雇用創出及び財政に大きな効果が期待できる。本事業の早期開業に向けた全面的な支援を強く求める。」とのご意見をいただき、これを受け、平成30年度に補助金の交付要綱の改正をしました。改正の結果、バイオマス発電所は該当し、補助対象となります。